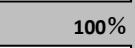
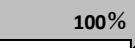
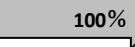
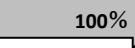
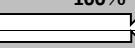
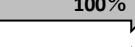
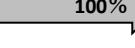
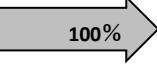
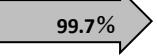
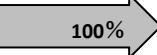
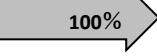
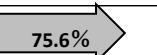
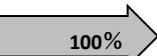
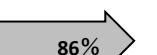
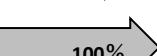
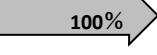
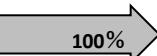
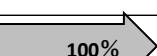
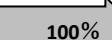
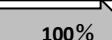
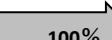
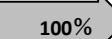


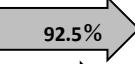
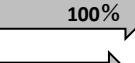
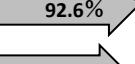
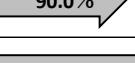
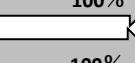
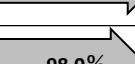
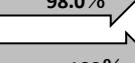
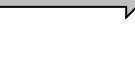
令和6年度 学校経営の自己評価(最終実施状況)

令和7年3月31日
東京都立武蔵台学園

		取組目標	目標数値	達成度	実施状況	成果と課題
安全で安心な学校運営の推進	ア	骨折、頭部のけが、行方不明等、児童・生徒に関する管理内事故の撲滅	児童・生徒の管理内事故(年0件)	 100%	事故0件	<成果>ヒヤリハット事例検討会(5、9、1月)、年間を通じた事故防止のための定期的な情報共有、インシデント書式の活用 <課題>事故0件の継続、教員のさらなる意識の向上
	イ	体罰・不適切な指導の根絶、いじめの未然防止	体罰・不適切な指導、いじめの見逃し(年0件)	 100%	事案0件 学校生活アンケート(6、11、2月)、服務事故防止研修によるスローガン作成と実践、性暴力、体罰等のチェックシートに基づく校長との個別面談(全教員7月)、教員のいじめ防止研修4回	<成果>学校生活アンケートによるいじめ・体罰・不適切な指導の早期発見、スローガン作成等による学校全体の意識向上 <課題>事案0件の継続、教員のさらなる意識の向上
	ウ	スクールバスの安全で円滑な運行【知】	スクールバスに関する事故(年0件)	 100%	学校に起因する事故0件 乗務員対象の緊急研修会1回、定期的な会合や注意喚起を含むミーティング9回、どこイルカ(GPS)の定期的な訓練(各学期1回)	<成果>乗務員の人権上の課題発生直後の迅速な対応による再発防止 <課題>乗務員の人権意識の向上
	エ	適切な保健管理、保健指導及び「TOKYO ACTIVE PLAN for students」(令和4年3月策定)(総合的な子供の基礎体力向上方策(第4次推進計画))を参考にした児童・生徒の体力向上及び健康の保持増進	医療的ケアに関する事故(年0件)【知】 療育相談による児童・生徒及び保護者への支援(年9回)【知】 「保健だより」による感染症・熱中症等予防の啓発(年12回以上)【知】	 100%  200%  125%	事故0件 対象者に対し安全に実施 9回18ケース 15回	<成果>支援校の常勤看護師との報告・連絡・相談等の連携、看護師付添いによる進路見学・校外学習等の安全な実施 療育相談での保護者との連携・共有による支援方法の改善 <課題>現場実習での医療的ケアにおける保護者との円滑な連携 相談内容の効果的な活用 熱中症対策を講じた教育活動における安全な実施の継続
	オ	安全な給食の提供(給食に関する事故 年0件)【知】	給食に関する事故(年0件) 「給食だより」による栄養・食文化・食育等の啓発(年11回以上)	 100%  100%	事故0件 外部専門員による摂食指導研修13回、給食試食会1回、食物アレルギー対応委員会3回 11回	<成果>外部専門員による摂食指導を通じた実態に応じた形態食の提供(2名)、口腔機能を基にした食べ方の工夫・改善(全員) <課題>食物アレルギー対応におけるさらなる理解・共有
	カ	大規模災害、感染症拡大等、緊急事態に備えた対応策の徹底	集団感染(年0件) 大規模災害を想定した実効性ある訓練(抜き打ち訓練 年3回)	 100%  100%	集団感染0件 抜き打ち訓練3回 全校引き渡し訓練、教職員合同防災訓練、高等部1年宿泊防災訓練	<成果>手洗いプロジェクトの実施(小学校部)等による感染対策の徹底、感染予防に対する意識の向上 各月想定を変えた避難訓練の工夫 <課題>感染予防徹底のさらなる継続、様々な想定での訓練による教職員の危機管理意識の向上

2 人権尊重と個に応じた教育の推進	キ	人権を尊重し、個の状況を理解した教育の徹底	呼名における、小1から性別問わず「姓+さん」の徹底 人権に配慮した指導に対する保護者満足度(100%)	  	【知】126人中126人 【病】51人中 51人 【知】学校評価(10月)における満足度 【病】退院時評価(随時)における満足度	<成果>呼名における人権意識の定着 <課題>人権意識の継続
	ク	東京都教育ビジョン(第4次)(令和元年6月策定)及び「未来の東京」戦略(令和3年3月策定)等に基づくデジタル技術を活用した教育の推進	デジタルを活用した研究授業(5~12月 全教員一人1回以上) デジタル活用に関する研修会(夏季休業日中2回)	 	【知】104人中104人 【病】50人中50人 4回 【知】2回 【病】デジタルセンターによる研修1回、授業時数管理エクセルデータの研修1回	<成果>各授業のデジタル機器活用による教材提示、実践の定着 【知】<課題>デジタル機器活用力の格差、モニター設備の不足 【病】<課題>ニーズに応じた研修の実施
	ケ	一人一人のキャリア発達を見据えた進路指導の充実	企業就労率30%以上 希望進路先への就労・進学率100% 過去3年間の企業就労定着率100% 「進路通信」による情報発信(年8回以上)【知】 「進路便り」による情報発信(年6回以上)【病】 【病】病院内施設等の職場見学の実施(各学級各学部年1回以上)	    	22.7%(44人中10人) 希望進路先に全員内定 卒業生アフターケアによる企業就労の定着(1年目100%、2年目90%、3年目67%) 【知】8回 【病】6回 【病】18回	【知】<成果>個に応じた進路指導とアフターケアによる就労の実現・定着 【知】<課題>伸びしろの見立てを共有した進路指導及びアフターケアの充実 【病】<成果>効果的な情報発信 【病】<課題>発信内容の収集 【病】<成果>職場見学実施後における感謝の手紙等を通じた交流 【病】<課題>系統的な職場見学の実施
	コ	地域の外部人材の活用による専門的な教育の推進	お話し会、読み聞かせ、清掃技能検定、がん教育、笑顔と学びの体験活動プロジェクト【知】 和楽器教室、落語教室、腹話術教室、日本茶体験教室、星空教室、先輩の話を聞く会、笑顔と学びの体験活動プロジェクト【病】	 	【知】お話し会6回、読み聞かせ18回、清掃技能検定2回、がん教育1回、笑顔プロジェクト3回 【病】和楽器教室2回、落語教室2回、腹話術教室2回、日本茶体験教室1回、星空教室1回、先輩の話を聞く会1回、笑顔プロジェクト2回	【知】<成果>外部施設・人材との連携によるお話し会、読み聞かせの実施、都立多摩図書館のセット貸出試行 【知】<課題>継続した児童・生徒への体験学習の企画 【病】<成果>感染防止対策の緩和による対面実施 【病】<課題>先輩の話を聞く会での講師役となる人材の確保
	サ	病院との連携による教育活動の推進【病】	退院時評価満足度(100%)		退院時評価(随時)における満足度 病院、教育庁・学校との連絡協議会2回、退院・復学支援(随時)	<成果>満足度100%の維持、Formsを活用したアンケートの実施 【課題】アンケート回収率向上の工夫

3 特別支援教育のセンター的機能の充実	シ	特別支援教育コーディネーターを中心としたセンター的機能の充実	「都立版エリアネットワーク」における高校への支援(年10回以上)【知】 市教育委員会への支援(就学支援委員会等 年30回以上)【知】 病院との連携による入院中の子供への教育相談の実施(随時)【病】 病弱教育の理解促進を目的とする地域向けWeb研修の実施(年1回)【病】	   	【知】高校4校6課程における授業観察、巡回相談、メールや電話での相談計17回 市就学支援委員会、小学校進路講演会、巡回相談、研究授業の助言等計70回 【病】分教室に学籍がない子供への教育相談(随時) 【病】地域向けWeb研修会(8月 参加者200名)	【知】<成果>高校への支援を通した連携の継続 市教育委員会、小・中学校へのセンター的機能の発揮 <課題>高校及び市教育委員会への支援充実に向けたさらなる連携 【病】<成果>病院との連携による教育相談の継続 <課題>病弱教育のさらなる理解促進の工夫
	ス	社会貢献活動、交流及び共同学習の推進【知】	特別支援教育の理解促進に向けた障害者スポーツを通じた交流の推進(小2回、中・高各1回) 直接交流及び間接交流合わせた副籍実施率(小学部60%以上)(中学部30%以上)	  	小学部2回、中学部1回、高等部:1回 小学部51.7% 中学部31.9%	<成果>中学部の副籍交流率の増加 <課題>小学部副籍交流への理解促進の工夫 都政策目標(R9年度小学部80%、中学部50%)達成に向けたロードマップの構築
	セ	特色ある教育活動の積極的な発信による理解啓発	ホームページへの「センターだより『西』Good News」への本校記事の掲出(年10回以上) ホームページの更新(年150回以上)	 	13回 180回	<成果>新たな特色ある活動の企画 <課題>特色ある取組の継続的な発信
	ソ	東京都特別支援教育推進計画に基づく学籍異動や施設整備等の円滑な事務	都立立川学園及び都立府中けやきの森学園学籍異動対象者への情報提供(年2回以上)		学籍異動対象者に学校公開や説明会の案内提供4回 学籍異動についての意思確認の面談	<成果>円滑な学籍異動に向けた異動校への引継 <課題>継続的な情報提供と円滑な学籍異動の継続
4 専門性向上とマネジメント力育成	タ	教員の専門性及び授業力の向上	研究授業(5~12月 全教員一人1回以上) 年次研対象者の研究授業への指導主事等による指導・助言(年5回以上) 外部専門員等による研修会(年10回以上) 都立小児総合医療センター医師等による研修会(年5回)【病】	   	【知】104人中104人 【病】50人中50人 5回 16回 5回	<成果>夏季休業日を活用した教材作成研修等による専門性向上、校内初任研(19回)を通じた業務理解 <課題>効果的な授業実践の共有 【病】<成果>基礎から専門分野までの幅広い知識の習得 <課題>効率的な内容・時期等の調整
	チ	ミドルリーダーのマネジメント力向上	取組目標設定等の検証(4月)、取組目標進捗状況報告(8月、2月)		【知】主幹会議による学校運営補佐、人材育成、分掌、学部主任会の進行及びマネジメント状況の検証(毎週)、研究授業観察による指導・助言及び改善策の提案(随時) 【病】学級運営会議における学部主任、副主任主体の運営(毎週)	<成果>適切な業務支援による年間業務の確実な遂行、計画的な行事の実施及びカリキュラムマネジメントを踏まえた行事計画の検証と立案、新規取組に向けた具体案の検討【知】、授業の在り方実態調査に基づく改善策の共有【病】<課題>若手教員の組織的・計画的な育成、事故〇の安全指導の継続

5 働き方 改革の 推進	ツ	サービス事故の根絶に向けた服務管理(サービス事故 年0件)	サービス事故(年0件)		事故0件 コンプライアンス研修(7月)、服務事故防止研修(4、7、12月)、就学奨励費研修(6、11月)、体罰等撲滅に向けた主幹教諭、学部・学年主任等による主任教諭、教諭へのOJT(随時)	<成果>毎日の巡回指導による注意喚起と定期的な研修及びチェックシートによる職員へ理解度の確認 <課題>教員一人一人の自覚と高い意識の維持継続
	テ	「学校における働き方改革推進プラン」(平成30年2月策定)及び「学校における働き方改革の推進に向けた実行プログラム」(令和6年3月策定)に基づく教職員のライフ・ワーク・バランスの推進	時間外勤務月45時間以内(達成率100%) 年休取得日数15日以上(達成率100%) ストレスチェック受検率(100%) 教職員の勤務満足度(100%)	    	4~12月平均達成率 1月時点達成率 対象者全員受検(9月) 学校評価(内部評価10月)における満足度 【知】 【病】新規	<成果>時間外勤務の減少 <課題>主任教諭・教諭の業務改善 <成果>休暇を取得しやすい良好な関係性の構築 <課題>教諭層の休暇取得に向けた意識向上 <成果>ストレス率の減少、職場環境改善アドバイザーによる助言の活用(11月) <課題>継続した取組と高ストレス者の減少 <成果>働きがいへの意識向上 【知】<課題>昨年度比1.5ポイント減、満足度向上に向けた取組の継続と良好な職場環境の維持
	ト	経営企画室の適正で円滑な業務遂行と積極的な経営参画	一般需用費のセンター契約集約率(60%以上) 予算執行率(備品100%) (一般需用費95%以上)	  	1月時点集約率68.8% 1月時点執行率 備品100% 一般需用費95%	<成果>補正予算を含む計画的な予算執行 <課題>年度末におけるセンター契約最終落差金の学校振替による最終契約集約率の低下
	ナ	学校評価アンケート等を活用した学校運営の点検及び改善	学校運営全般に対する保護者満足度(100%)【知】 小学5・6年生、中学生及び保護者による退院時評価満足度(100%)【病】	 	【知】学校評価(10月)における満足度 【病】退院時アンケート(随時)における満足度	【知】<成果>昨年度比0.5ポイント増、学校評価における本校の取組への理解度の向上、Forms及び紙による回収(回収率96%)、学校運営連絡協議会からの提言に基づく取組方針の確立 <課題>保護者に向けた学校評価項目の改善 【病】<成果>満足度100%の継続 【病】<課題>アンケート回収率向上のさらなる工夫

【知】:知的障害教育部門のみ 【病】:病弱教育部門のみ 無印:両部門共通